



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場取引所 福

上場会社名 株式会社ヒガシマル
コード番号 2058 URL <http://www.k-higashimaru.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東 紘一郎
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 木通 昌生

TEL 099-273-3859

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	4,723	2.7	118	△34.8	66	△61.9	△18	—
23年3月期第2四半期	4,597	2.7	182	26.5	175	△12.0	51	△52.1

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 4百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △112百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△3.86	—
23年3月期第2四半期	11.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	9,712	4,146	4,146	4,184	42.7
23年3月期	8,973	4,184	4,184	4,184	46.6

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 4,146百万円 23年3月期 4,184百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,544	1.6	130	50.3	86	△1.2	△3	—	△0.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	4,746,000 株	23年3月期	4,746,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	40,842 株	23年3月期	40,842 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	4,705,158 株	23年3月期2Q	4,705,158 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料]3ページ、「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の急激な落ち込みからサプライチェーンの復旧に伴って経済活動は急回復しましたが、海外景気の減速懸念や金融市場の混乱などにより景気は緩やかな伸びに止まっております。

このような状況のなか、水産事業では飼料の販売量が減少し、養殖用稚魚等の販売が伸び、食品事業では震災後の一時的な品薄に対応して即席めん類の増産を行った結果、売上高は47億23百万円と前年同四半期と比べ1億25百万円(2.7%)の増収となりました。損益面につきましては、売上高の増収と経費削減の効果はありましたが、原材料及び運賃等の値上がりの影響が大きく、営業利益は1億18百万円と前年同四半期と比べ63百万円(34.8%)の減益、経常利益は66百万円と前年同四半期と比べ1億8百万円(61.9%)の減益、四半期純損失は18百万円(前年同四半期は51百万円の四半期純利益)となりました。

なお、養魚用配合飼料の需要は、養殖魚の成長過程に応じ、成育が旺盛になる夏から初冬までが多く、水温が低下し餌食いが鈍くなる冬から春は少なくなるという季節の変動があります。したがって、当第2四半期連結会計期間の売上高は、第1四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間と比べ高くなる傾向にあります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①水産事業

水産事業におきましては、ハマチ飼料類及び養殖用稚魚等の販売は増加しましたが、マダイ飼料類が減少した結果、売上高は38億19百万円と前年同四半期と比べ1百万円の減収となりました。セグメント利益は、原材料及び運賃等の値上がりと為替差損により91百万円と前年同四半期と比べ1億82百万円(66.6%)の減益となりました。

②食品事業

食品事業におきましては、即席めん類及びそうめん類の販売が増加した結果、売上高は9億3百万円と前年同四半期と比べ1億27百万円(16.4%)の増収となりました。セグメント利益は、原材料及び資材等の値上がりはありましたが、売上高の増収と経費削減の効果により87百万円と前年同四半期と比べ54百万円(166.2%)の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ7億38百万円増加し、97億12百万円となりました。これは、主として現金及び預金が3億46百万円、原材料及び貯蔵品が2億4百万円、建物及び構築物が26百万円、機械装置及び運搬具が50百万円減少したものの、当社グループの業況の季節的要因により、受取手形及び売掛金が13億38百万円増加したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ7億76百万円増加し、55億65百万円となりました。これは、主として当社グループの業況の季節的要因により買掛金が6億91百万円、運転資金の調達により短期借入金が1億37百万円、その他の流動負債が1億35百万円増加し、長期借入金が1億52百万円減少したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ38百万円減少し、41億46百万円となりました。これは、主として四半期純損失の計上と配当金の支払いにより利益剰余金が60百万円、繰延ヘッジ損益が29百万円減少し、海外子会社の為替換算調整勘定が48百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、当社グループの事業に係るリスクの発生、運営上の重要な契約等の締結、その他当社グループの将来の業績に影響を与える可能性のある事象が発生した場合は、業績予想を見直す可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

従来、営業外収益として計上しておりました物品売却益は、金額的重要性が増したため、第1四半期連結累計期間から売上高に含めて表示することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の連結損益計算書において、物品売却益として表示していた26,010千円は、売上高として組み替えております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,156,153	809,276
受取手形及び売掛金	1,231,276	2,570,024
商品及び製品	443,803	453,011
仕掛品	91,431	71,556
原材料及び貯蔵品	1,054,250	849,571
その他	185,401	217,341
貸倒引当金	△2,813	△2,472
流動資産合計	4,159,502	4,968,309
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,193,805	1,167,191
機械装置及び運搬具（純額）	874,944	824,170
土地	1,763,746	1,763,746
その他（純額）	49,010	49,912
有形固定資産合計	3,881,507	3,805,020
無形固定資産	49,993	44,600
投資その他の資産		
投資その他の資産	926,573	937,965
貸倒引当金	△43,813	△43,813
投資その他の資産合計	882,759	894,151
固定資産合計	4,814,260	4,743,772
資産合計	8,973,763	9,712,081

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	406,035	1,097,970
短期借入金	1,766,632	1,904,000
未払法人税等	35,827	76,988
賞与引当金	92,830	48,947
その他	430,012	565,682
流動負債合計	2,731,338	3,693,588
固定負債		
長期借入金	1,066,000	914,000
退職給付引当金	37,122	38,521
役員退職慰労引当金	478,795	442,690
その他	475,937	477,002
固定負債合計	2,057,855	1,872,213
負債合計	4,789,193	5,565,802
純資産の部		
株主資本		
資本金	603,900	603,900
資本剰余金	458,400	458,400
利益剰余金	3,473,609	3,413,104
自己株式	△28,938	△28,938
株主資本合計	4,506,971	4,446,466
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,061	16,349
繰延ヘッジ損益	△292,467	△321,569
為替換算調整勘定	△42,996	5,033
その他の包括利益累計額合計	△322,401	△300,186
純資産合計	4,184,569	4,146,279
負債純資産合計	8,973,763	9,712,081

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	4,597,407	4,723,153
売上原価	3,802,925	4,015,785
売上総利益	794,482	707,368
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	184,353	197,915
貸倒引当金繰入額	138	—
給料及び賞与	119,701	122,893
賞与引当金繰入額	32,232	1,809
役員退職慰労引当金繰入額	7,180	5,478
その他	268,489	260,272
販売費及び一般管理費合計	612,095	588,369
営業利益	182,386	118,998
営業外収益		
受取利息	1,779	366
受取配当金	2,059	2,074
受取保険金	7,339	1,530
役員退職慰労引当金戻入額	—	40,943
雑収入	7,688	10,282
営業外収益合計	18,866	55,197
営業外費用		
支払利息	14,131	12,446
為替差損	9,290	93,283
雑損失	2,440	1,578
営業外費用合計	25,862	107,308
経常利益	175,390	66,887
特別利益		
投資有価証券売却益	—	851
補助金収入	—	6,285
特別利益合計	—	7,137
特別損失		
固定資産除却損	424	97
投資有価証券売却損	—	8
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	12,645	—
特別損失合計	13,069	105
税金等調整前四半期純利益	162,321	73,919
法人税、住民税及び事業税	104,233	73,263
法人税等調整額	6,205	18,814
法人税等合計	110,439	92,077
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	51,881	△18,158
四半期純利益又は四半期純損失(△)	51,881	△18,158

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	51,881	△18,158
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,955	3,288
繰延ヘッジ損益	△163,845	△29,102
為替換算調整勘定	5,315	48,029
その他の包括利益合計	△164,485	22,214
四半期包括利益	△112,603	4,055
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△112,603	4,055
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	162,321	73,919
減価償却費	164,336	161,847
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	12,645	—
補助金収入	—	△6,285
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,229	△43,791
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	7,180	△36,105
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	—	1,398
固定資産除売却損益 (△は益)	424	97
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△843
受取利息及び受取配当金	△3,839	△2,440
支払利息	14,131	12,446
為替差損益 (△は益)	2,902	47,073
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,228,908	△1,356,574
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△311,889	204,260
仕入債務の増減額 (△は減少)	574,817	695,174
その他	24,525	59,781
小計	△579,123	△190,040
利息及び配当金の受取額	5,920	3,056
利息の支払額	△15,501	△13,122
法人税等の支払額	△72,382	△32,314
その他の収入	—	7,531
営業活動によるキャッシュ・フロー	△661,086	△224,888
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△804,452	△309,066
定期預金の払戻による収入	1,034,400	712,552
有価証券の償還による収入	170,000	—
有形固定資産の取得による支出	△83,146	△77,688
投資有価証券の取得による支出	△2,556	△16,934
投資有価証券の売却による収入	—	3,113
その他	△10,228	△9,904
投資活動によるキャッシュ・フロー	304,016	302,070
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	373,076	221,266
長期借入金の返済による支出	△26,680	△150,100
配当金の支払額	△42,346	△42,346
財務活動によるキャッシュ・フロー	304,050	28,820
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,266	△49,393
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△59,286	56,608
現金及び現金同等物の期首残高	482,937	508,201
現金及び現金同等物の四半期末残高	423,650	564,810

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,821,302	776,105	4,597,407	—	4,597,407
セグメント利益	273,840	32,874	306,715	△131,325	175,390

(注)1 セグメント利益の調整額△131,325千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費101,008千円、営業外収益3,428千円、営業外費用33,745千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,819,467	903,686	4,723,153	—	4,723,153
セグメント利益	91,374	87,517	178,892	△112,005	66,887

(注)1 セグメント利益の調整額△112,005千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費82,201千円、営業外収益32,348千円、営業外費用62,151千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。